

2025年3月19日

報道関係者各位

<特別展のご案内>

愛と平和の江戸絵画

会期 2025年6月8日(日)～12月7日(日)

岡田美術館(箱根町・小涌谷)では、2025年6月8日(日)～12月7日(日)まで、特別展として「愛と平和の江戸絵画」を開催いたします。会期中には、当館収蔵の伊藤若冲「孔雀鳳凰図」2幅も展示いたします。

江戸時代は、徳川家康が幕府を開いた1603年(慶長8)から、終焉を迎える1867年(慶応3)まで、約260年もの長きにわたり平和の続いた、世界史的にも稀有な時代でした。安定した政情のもと経済が繁栄し、多様な文化が育まれ、美術においては幅広いジャンルと表現が誕生した、画期的で魅力あふれる時代に位置付けられます。

本展は、「愛」と「平和」という2つのテーマから江戸時代の絵画をご紹介します。泰平の世を謳歌する人々や、穏やかな日常を描いた風俗画、親しみをこめて描かれたいきものたち、家族や恋人など愛する人への想いが伝わる作品の数々を展示します。さまざまな形で表現された「愛」と「平和」のメッセージを受け取っていただければ幸いです。



①伊藤若冲「孔雀鳳凰図」江戸時代 宝暦5年(1755)頃 重要美術品

見どころ1

平和が生んだ絵画さまざま

名所・遊楽から、日常を豊かにする琳派、旅を描いた浮世絵まで

見どころ2

いきものに向けたまなざし

虫や魚、犬や猿など、生命を描いた愛おしい作品を紹介

見どころ3

いろいろな愛のカタチを発見

家族に恋人、あこがれの人…愛する人への想いを読み解く

【特集展示】 生誕150年記念 上村松園と京都

見どころ1

平和が生んだ絵画さまざま

名所・遊楽から、日常を豊かにする琳派、旅を描いた浮世絵まで

平和の世の到来と、それを謳歌する気分は、絵画の中にも見て取ることができます。各地の名所や邸内を舞台に、現世を楽しむ享乐的な男女の姿を描いた風俗画が数多く制作され、やがて浮世絵の誕生へと繋がりました。町衆(裕福な町人たち)や公家が支持した京都の俵屋宗達、尾形光琳、そして江戸の酒井抱一らに継承された琳派の様式は、都市の洗練された美意識を伝えます。幕府によって整備された街道や宿場の発展は、経済的な効果をもたらすのみならず、多彩な文学や絵画作品を生むこととなりました。平和な世が育んだ、豊かな文化をご覧ください。

開放的な雰囲気の名園

修学院離宮は、後水尾天皇(1596～1680／在位1611～29)が譲位されて以降、比叡山のふもとに営まれた別荘。紅葉が美しい秋の季節、庭園で行楽を楽しむ男女が描かれる。当初の姿をとどめた絵画資料としても貴重。



②「修学院図屏風」江戸時代前期 17世紀

華やかなりし元禄文化

ワラビが天へと伸びる、うらかな春の野の風景。尾形光琳(1658～1716)の作品には、元禄期(1688～1704)の自由で明るい雰囲気が満ちている。



尾形光琳「蕨図団扇」
江戸時代前期 18世紀初頭



③歌川広重「箱根温泉場ノ図・箱根湖上ノ不二」
江戸時代後期 19世紀中頃



(拡大図)

旅のスケッチをもとに

歌川広重(1797～1858)が晩年に、箱根の人気観光地を描いた肉筆画。旅を愛した広重は、版画「東海道五十三次」に限らず、たくさんのすぐれた名所絵を残した。

見どころ2

いきものに向けたまなざし

虫や魚、犬や猿など、生命を描いた愛おしい作品を紹介

華やかな花鳥から、小さな虫や魚まで、日本では様々ないきものが親しみを込めて描かれてきました。江戸時代には徹底した観察に基づく写実的な作品が多く残されたり、かわいらしい子犬の絵が人気を集めたりとたくさん例が確認できます。このコーナーでは、いきものに向けられた画家のまなざしを紹介します。

平安の世を寿ぐ

泰平の世を象徴する想像上の鳥・鳳凰と、邪気を払うとされた清雅な白孔雀に加え、周囲には松や牡丹などめでたいモチーフが溢れている。

いきものを観察し、きわめて細密な描写によって表した伊藤若冲(1716～1800)の初期、40歳前後の傑作。

(拡大図)



白孔雀の羽が白一色で表される。レースのような繊細な表現。



①伊藤若冲「孔雀鳳凰図」江戸時代 宝暦5年(1755)頃 重要美術品

83年ぶりに再発見された「孔雀鳳凰図」

長年行方が分からず、モノクロ図版でしか知られてこなかった「孔雀鳳凰図」が、2016年に再発見されて大きな話題を呼びました。代表作「動植綵絵」30幅(皇居三の丸尚蔵館蔵、国宝)に先行する作品として貴重視されます。

自刃の約1か月前、華山のメッセージ

三河国田原藩士で、画家としても活躍した渡辺華山(1793～1841)が、虫や魚を緻密に描き、漢詩をとくに記した全12図から成る書画帖。いきものや植物を美しく描写する一方、弱肉強食の世界も描く。幕末を生きた華山が、欧米列強に狙われる小国・日本への警鐘を鳴らした渾身の作と考えられている。



④渡辺華山「虫魚帖」のうち(鶏頭にとんぼ・詩) 江戸時代 天保12年(1841) 重要文化財 ※会期中ページ替あり



(瓜にかまきり)

瓜の上の小さなアリたちに向かって、カマキリが威嚇している。淡い緑色をはじめ、彩色が美しい一点。



(岩上の亀)

小さなカメが、大きなカメをそっと狙い、追い出そうとしている。最終図に未来を占うカメを選び、日本の未来を案じた。

見どころ3

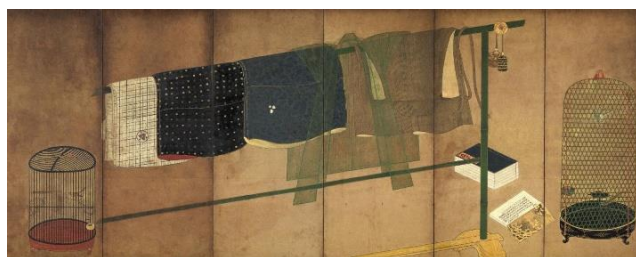
いろいろな愛のカタチを発見

家族に恋人、あこがれの人…愛する人への想いを読み解く

遊女や鬘眞の役者など美しい男女を描いた美人画に限らず、江戸時代には愛する人の存在を直接的、あるいは間接的に描いた作品が数多く制作されました。このコーナーでは、武家の嫁入り道具として用意された立派な屏風絵から、雛祭りなど子どもの成長を願って発注された絵画、馴染みの遊女を描いた作品までを展示し、幅広い愛のカタチを探ります。

家族の気配を感じさせる

人物を描かず、着物や帯によって人物の存在を暗示する。右隻は漆塗りの衣桁に女性用と子供用、左隻は青竹の衣桁に男性用の着物が掛けられる。双六盤や香炉、鳥かごなども置かれて、一家の優雅な暮らしがうかがえる。



⑤「誰ヶ袖図屏風」江戸時代初期 17世紀



若君に見せたい光景？

華やかな衣裳をまとった80名近い男女と子どもを描いた豪華な絵巻物。立派な駕籠の中から、男児と母君らしき二人が路上の賑わいを眺めている。肉筆専門の浮世絵師・宮川長春(1682～1752)の作品は武家にも愛好された。



⑥宮川長春「遊楽図巻」(部分) 江戸時代中期 18世紀前半

(拡大図)



将軍家や大名家の女性だけが使用できた「女乗物」が精緻に再現される。

(拡大図)



極上の絵具を使い、一人ひとり丁寧に描き分けられた着物の表現が楽しめる。

遊女は誰を想うのか

夏の夜の遊郭で、キセルを手に物思いにふける遊女と、妹分の遊女を描く。屏風には男物の羽織が掛けられ、今夜の客は蚊帳の奥で眠っているようだ。京都の西川祐信(1671～1750)は、上方を代表する浮世絵師。

西川祐信「蚊帳美人図」
江戸時代中期 18世紀前半

No Image

【特集展示】 生誕150年記念 上村松園と京都

近代京都画壇を代表する女流画家・上村松園(1875～1949)の生誕150年を記念し、当館収蔵の松園の作品から3点を特別に公開します。松園は、気品ある女性像で確固たる地位を築き、日本人女性で初めて文化勲章を受章しました。松園が影響を受けた京都の円山応挙(1733～95)の作品などと合わせてお楽しみください。



⑦上村松園「上臈観書之図」
大正～昭和時代 20世紀前半



⑧上村松園「晴日」
昭和時代 20世紀前半



⑨上村松園「夕涼」
昭和時代 20世紀前半

「上臈観書之図」

夜のひそかな楽しみ

行灯の下で読書をする上臈(身分の高い女官)を、手前から垣間見るように描く。松園50代頃の作。

「晴日」

晴れた日の浮き立つ気分

若草を思わせるやわらかな緑色の振袖と、美しい日本髪が際立つ。60代後半頃、松園最晩年の作。

「夕涼」

涼風吹く川辺の光景

夕涼みをする振袖姿の娘。衿元や袖口から涼しい風が吹き抜ける。松園は古き良き時代の風俗を愛した。

特別公開！ 尾張徳川家の姫君ゆかりの庭園図

松園が活躍した京都にちなみ、宮廷関係の御用をつとめた原在明^{さいめい}(1778～1844)による名品を久々に公開します。10メートル近い巻物に描かれたのは、京都・下賀茂神社付近にあった尾張徳川家九代宗睦^{むねちか}の養女・維君^{つなぎみ}(1785～1847、近衛基前夫人^{もとさき})の別荘「桔梗園^{けいげつえん}」と考えられます。温和で格調高い画風により、高貴な女性の庭園が仔細に記録されています。



⑩原在明「洛北真景図巻」(部分) 江戸時代後期 19世紀前半

【開催要項】

展覧会名 愛と平和の江戸絵画
会期 2025年6月8日(日)～12月7日(日)
休館日 会期中無休
主催 岡田美術館
所在地 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
入館料 一般・大学生2,800円(2,550円)
小中高生1,800円
※()内は前売り料金。

特別展の内容は予告なく変更する場合がございます

会期中イベント

関連講座『江戸絵画のなかの愛—婚礼調度から美人画まで—』
10月4日(土)13:00～14:30
講師:稲垣 朋子(岡田美術館 主任学芸員)

関連スライドトーク『江戸時代の食と器』
9月13日(土)13:00～14:00
講師:塩谷 尚子(岡田美術館 学芸員)

学芸員ギャラリートーク 特別展「愛と平和の江戸絵画」
6月20日～11月28日 毎週金曜日11:00～

※参加費無料(要入館料)／申込不要



岡田美術館収蔵品をモチーフにしたコース料理



藤井 育郎
前・総支配人



赤星 賢
料理長



塩谷 尚子
学芸員

箱根・強羅 佳ら久 × 岡田美術館 やきものと料理をめぐるクロストーク

現在、ラグジュアリー旅館リゾート「箱根・強羅 佳ら久」では岡田美術館の収蔵品をモチーフにしたコース料理を提供しています(宿泊・美術館招待券付き)。器は今回のために有田から特別に取り寄せられ、料理説明は当館学芸員が監修しました。

このたび、5月よりコース内容が新しくなることを記念し、藤井育郎氏(箱根・強羅 佳ら久 前・総支配人現:オリックス・ホテルマネジメント(株)施設運営部)と赤星賢氏(メインダイニング六つ喜 料理長)をお招きし、陶磁器担当の塩谷尚子学芸員とやきものと料理をめぐるクロストークを行います。

- 日 時 : 4月29日(火・祝)13:00～13:45
- 場 所 : 岡田美術館 5階ホール
- 参 加 費 : 無料(要入館料)、定員あり
- 連 絡 先 : 0460-87-3931 / info@okada-museum.com

※事前申込制(当日受付可)



～特集展示「日本のやきもの色イロ」～

特集展示「日本のやきもの色イロ」を4階にて開催しています。日本のやきものの色に注目し、弥生～江戸時代までの作品約25件を展示中です。

古代から好まれた「赤」、桃山時代まで作れなかった「白」、焼く温度で変化する「青」、豪華さを演出する「金」など、素材や釉薬、絵具、焼成方法によって様々な彩られたやきものを、陶磁器の基礎知識を学びながらお楽しみください。

【岡田美術館について】

岡田美術館は2013年10月、箱根・小涌谷に開館しました。全5階、展示面積約5,000㎡という屋内展示面積としては箱根随一を誇る広大な館内に、日本・東洋の陶磁器や絵画などの美術品を常時約450点展示しています。

日本で受け継がれてきた美術品を大切に守り、美と出会う楽しさを分かち合い、次代に伝え遺したい、との願いから、美術館が構想されました。美術館の正面を飾るのは、現代日本画家・福井江太郎氏によって描かれた縦12m、横30mに及ぶ風神・雷神の大壁画「風・刻^{かぜ・とき}」(2013年)です。他にも深見陶治氏、諸井謙司氏、樂雅臣氏など、現代作家の作品が屋内外に展示され、来館者をお迎えします。その他付帯施設もお楽しみください。



大壁画

琳派の祖ともいえる俵屋宗達^{たわらやむねたけ}の「風神雷神図屏風」をもとに、天駆ける箱根の守り神として、福井江太郎氏が現代に甦らせました。構想から完成まで約5年の歳月をかけて制作した大壁画「風・刻」が、皆様をお迎えいたします。

⑪美術館外観



開化亭

昭和初期の日本家屋を改装した風流な飲食施設「開化亭」は、明治半ばにこの地にあった外国人向けホテルにちなんで名づけられました。自然の恵みを感じる庭園を眺めながら、「季節の魚天うどん」などのお食事や喫茶をお楽しみいただけます。

⑫開化亭



足湯カフェ

風神・雷神の大壁画を前にした100%源泉かけ流しの足湯カフェでは、人気の「プレミアム和パフェ」やソフトクリームなどのスイーツ、各種お飲み物を用意しています。また季節湯や期間限定メニューなど四季折々のイベントも行っておりますので、ぜひお立ち寄りください。

⑬足湯カフェ



ミュージアムショップ

2023年よりコラボレーションをスタートしたピエール・エルメ・パリとの限定チョコレートは、当館ミュージアムショップのみの販売です。美術館のシンボルマークをあしらったショコラなど、7種類の組み合わせをお楽しみいただけます。

⑭アソリュティマンド ショコラ ミュゼ オカダ 7個入 3,800円(税込)



【1日1組限定】閉館後貸切プラン

閉館後の岡田美術館を貸切にできる、1日1組限定のプレミアムなプランをご用意しております。学芸員の解説付きで展示室をご鑑賞いただけるほか、「開化亭」の奥座敷を貸切にできる無料オプションもございます。詳細は岡田美術館までお問い合わせください。

FAX

0460-87-3934

E-mail

pr@okada-museum.com (岡田美術館 行)

岡田美術館 広報用画像データ貸出申込書

広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

- * 本特別展の紹介に限り使用し、二次使用や改変（部分使用含む）はご遠慮ください。
 - * 使用後2週間以内に、貸与したデータをすべて消去してください。
 - * 表記一覧に記載した掲載キャプション（作品名、作者名、制作年、岡田美術館蔵ほか）をすべてご記載ください。
 - * web 掲載時は「画像写真の無断転載禁止」の旨をご記載ください。
 - * 校正原稿を広報担当者までお送りください。※校正期間は中3営業日
- プレスリリースをご参照の上、ご希望の写真 No. に✓印をお付けください。

✓	No.	掲載時のキャプション
	1	伊藤若冲「孔雀鳳凰図」(部分) 江戸時代 宝暦5年(1755)頃 重要美術品 岡田美術館蔵
	2	「修学院図屏風」(部分) 江戸時代前期 17世紀 岡田美術館蔵
	3	歌川広重「箱根温泉場ノ図・箱根湖上ノ不二」(部分) 江戸時代後期 19世紀中頃 岡田美術館蔵
	4	渡辺華山「虫魚帖」のうち(鶏頭にとんぼ・詩) 江戸時代 天保12年(1841) 重要文化財 岡田美術館蔵 ※会期中ページ替あり
	5	「誰ヶ袖図屏風」(部分) 江戸時代初期 17世紀 岡田美術館蔵
	6	宮川長春「遊楽図巻」(部分) 江戸時代中期 18世紀前半 岡田美術館蔵
	7	上村松園「上臈観書之図」(部分) 大正～昭和時代 20世紀前半 岡田美術館蔵
	8	上村松園「晴日」(部分) 昭和時代 20世紀前半 岡田美術館蔵
	9	上村松園「夕涼」(部分) 昭和時代 20世紀前半 岡田美術館蔵
	10	原在明「洛北真景図巻」(部分) 江戸時代後期 19世紀前半 岡田美術館蔵
	11	美術館外観
	12	開化亭
	13	足湯カフェ
	14	アソリュティマン ド ショコラ ミュゼ オカダ 7個入

申し込みフォーム * フォームへの記入、もしくはお名刺の添付をお願いいたします。

貴社名・媒体名			
ご担当者様名		TEL	
部署名		FAX	
E-mail			
ご住所	〒 —		
放送・掲載内容			
放送・掲載予定日	年 月 日	放映エリア／発行部数	
弊社社内ネットワーク掲載可否	可 / 否	ほか備考	

★プレゼント用招待券をご希望の方は、別途広報担当にご相談ください